



MORIOKA SHINKIN BANK
SINCE 1903

DISCLOSURE 2026

ディスクロージャー2026 盛岡信用金庫の現況

企業編



盛岡信用金庫





盛岡信用金庫プロフィール (2026年3月31日現在)

名 称	盛岡信用金庫
本店所在地	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号
電話番号	019-623-2221
設立	明治36年(1903年)1月19日
店舗数	23店舗
会員数	31,428人
出資金	18億52百万円
総資産	2,637億5百万円
預金残高	2,566億51百万円
貸出金残高	1,247億82百万円
自己資本比率	10.63%
役員数	常勤役員 7名 職員 196名

< CONTENTS >

盛岡信用金庫プロフィール	01
経営理念・基本方針	03
ごあいさつ	04
事業の概況・取組み方針	05
SDGsへの取組み	07
地域密着型金融の取組み	09
お客さま満足度向上への取組み	16
お知らせ	17
店舗一覧	18



123年の感謝と これからも地域と共に



DISCLOSURE 2026

【経営理念】

当金庫は、明治36年（1903年）の創立以来123年の永きにわたり、協同組織金融機関として共存同栄（地域に根ざし、地域と共に発展する）の精神のもと、一貫して「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に歩んでまいりました。

地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関として、経営の健全性を確保し、より良質な金融商品とサービスの提供に努めてまいります。

【基本方針】

中小企業と一般大衆の地域金融機関として、金融の円滑化を図り、地元産業経済の繁栄に奉仕し、もって日本経済の発展に貢献します。

【経営方針】

収益力の強化

意欲と情熱をもって積極的に行動を起こし、攻めの営業に転じ収益力を強化し堅固な経営基盤の構築に努めます。

経営の安定と発展

常に健全経営を維持し、金融機関としての信用を高め、不断の発展を図ります。

社会への奉仕

地域社会ニーズへの対応を社会的責任と認識し、広く金融サービスの向上に努めます。

調和ある経営

会員、取引先との調和の取れた経営を行い、役職員との融和により、事業の組織的運営を行います。

働きよい職場

職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図ります。





Top Message

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども盛岡信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、当金庫の「ディスクロージャー2026」を作成しましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

国内経済は、コロナ禍が収束し、日本銀行による利上げが行われ、「金利のある世界」に戻りました。複雑化した地政学リスクの顕在化、地球規模での大規模な自然災害の頻発、日米欧の金融政策の方向性の違いなどが経済に大きな影響を及ぼしております。

また、県内の中小企業においては、物価高による原材料等の高騰や人材確保における人件費の増加、デジタル化やDX対応等により、経費が上昇し収益が伸び悩んでいる状況であります。加えて、少子化の急激な加速、高齢化、人口減少等による市場規模の縮小が進行し、首都圏への一極集中による地域間格差が拡大するなど、多くの課題があります。

令和7年度は、中期経営計画の最終年度として、お客さまの本業支援をはじめ各施策の完遂を目指し、役職員一丸となり全力で取組んでまいりましたが、中小企業・地域金融機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中、当金庫の預金積金期末残高は、前期比2.57%減少の2,566億51百万円となり、貸出金期末残高については、前期比2.44%減少の1,247億

82百万円となりました。また、収益面においては、利回り上昇により資金運用における収益の増加、不良債権先の回収による与信関連費用の減少により、当期純利益は7億83百万円の利益計上となりました。

なお、金融機関の安全性・健全性を示す指標であります自己資本比率は、国内基準の4%を上回る10.63%となり、また不良債権比率につきましては、4.05%となりました。

令和8年度は、新中期経営計画『『情熱大陸』作戦Ⅲ（第3ステージ）～人財力で未来を創る、地域と共に歩む経営～』がスタートしました。本計画は、前計画の施策等を一部継承するとともに、企業風土改革も道半ばであることから、改革を一段と進めてまいります。

また、人的資本経営の実施による全職員が活躍できる職場の整備、金利のある世界における適正利益の確保やDXによる生産性・効率性の向上へ向けての取組み、さらには地域密着型コンサルティングの実施による、「共存同栄」の実現を目指してまいります。

当金庫は、これからも地域に根差し、「人財力」「組織力」の向上を図り、当金庫の価値向上およびお客さまにより高度な価値を提供できるよう新たな情熱をもって取組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

理事長 浅沼 晃

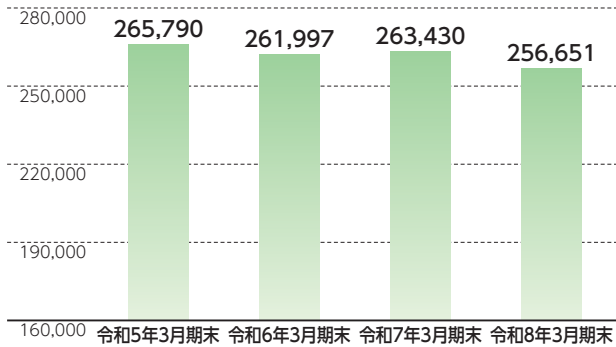
事業の概況

預金残高の推移

【預金】

法人運転資金でのお支払いや地方公共団体預金の減少により、預金残高は2,566億51百万円（前期比67億79百万円減少）となりました。

(単位：百万円)

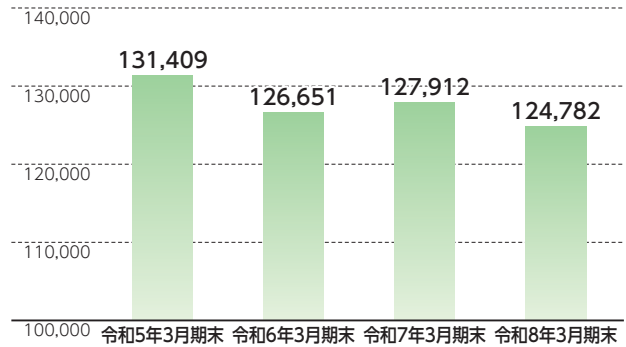


貸出金残高の推移

【融資】

住宅ローンやマイカーローンが好調でしたが、コロナ資金のご返済等により、貸出金残高は1,247億82百万円（前期比31億30百万円減少）となりました。

(単位：百万円)

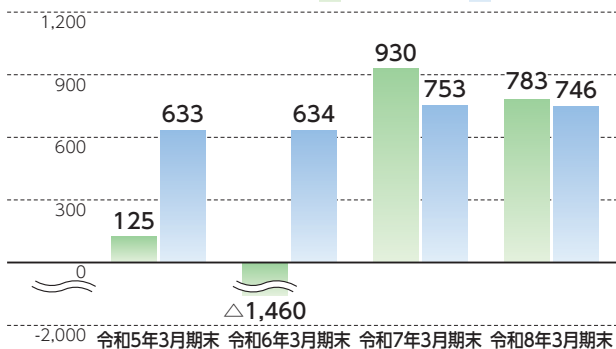


当期利益の推移

【収益】

当期利益は7億83百万円（前期比1億47百万円減少）となりました。金融機関の本来業務での収益力を示すコア業務純益は、7億46百万円（前期比7百万円減少）となりました。

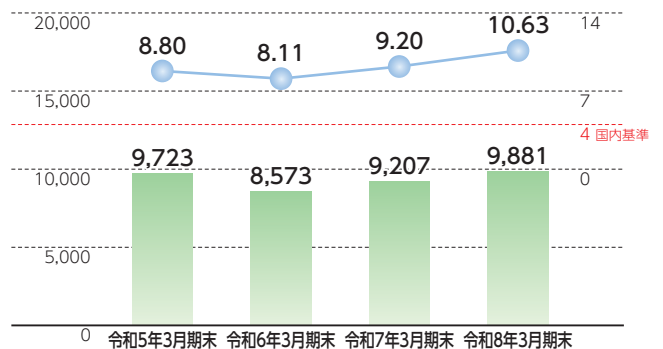
(単位：百万円)



自己資本比率

自己資本の額は、98億81百万円（前期比6億73百万円増加）となりました。自己資本額の増加により、自己資本比率は10.63%（前期比1.43ポイント増加）となりました。こちらは、国内で業務を行う金融機関に義務付けられている自己資本比率4%を大きく上回っており、経営の健全性については全く問題ございません。

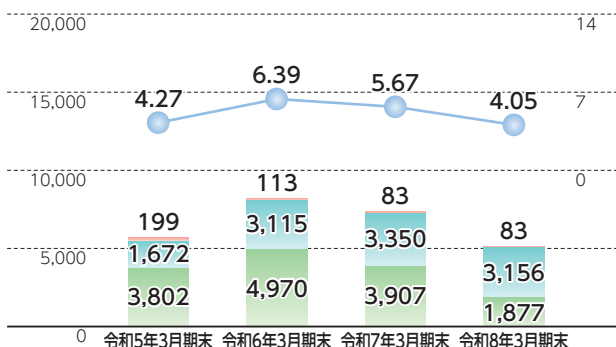
(単位：百万円)



不良債権比率

金融再生法に基づく不良債権残高は、51億17百万円（前期末比22億24百万円減少）となり、不良債権比率は4.05%（前期比1.62ポイント減少）となりました。岩手県中小企業活性化協議会等、外部機関と連携しながら積極的に、事業再生に取り組んでおります。

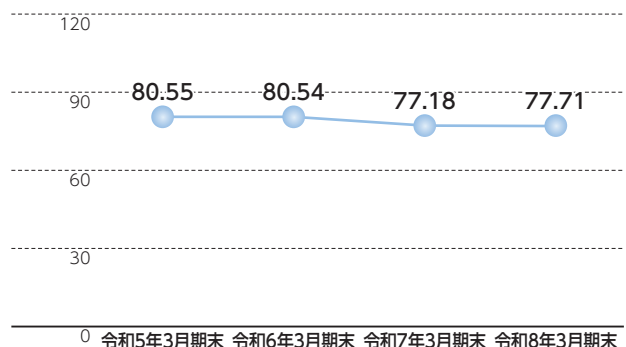
(単位：百万円) (単位：%)



コアOHR（オーバーヘッドレシオ）

コア業務粗利益に占める経費の割合を示したものであり、77.71%（前期比0.53ポイント増加）となりました。

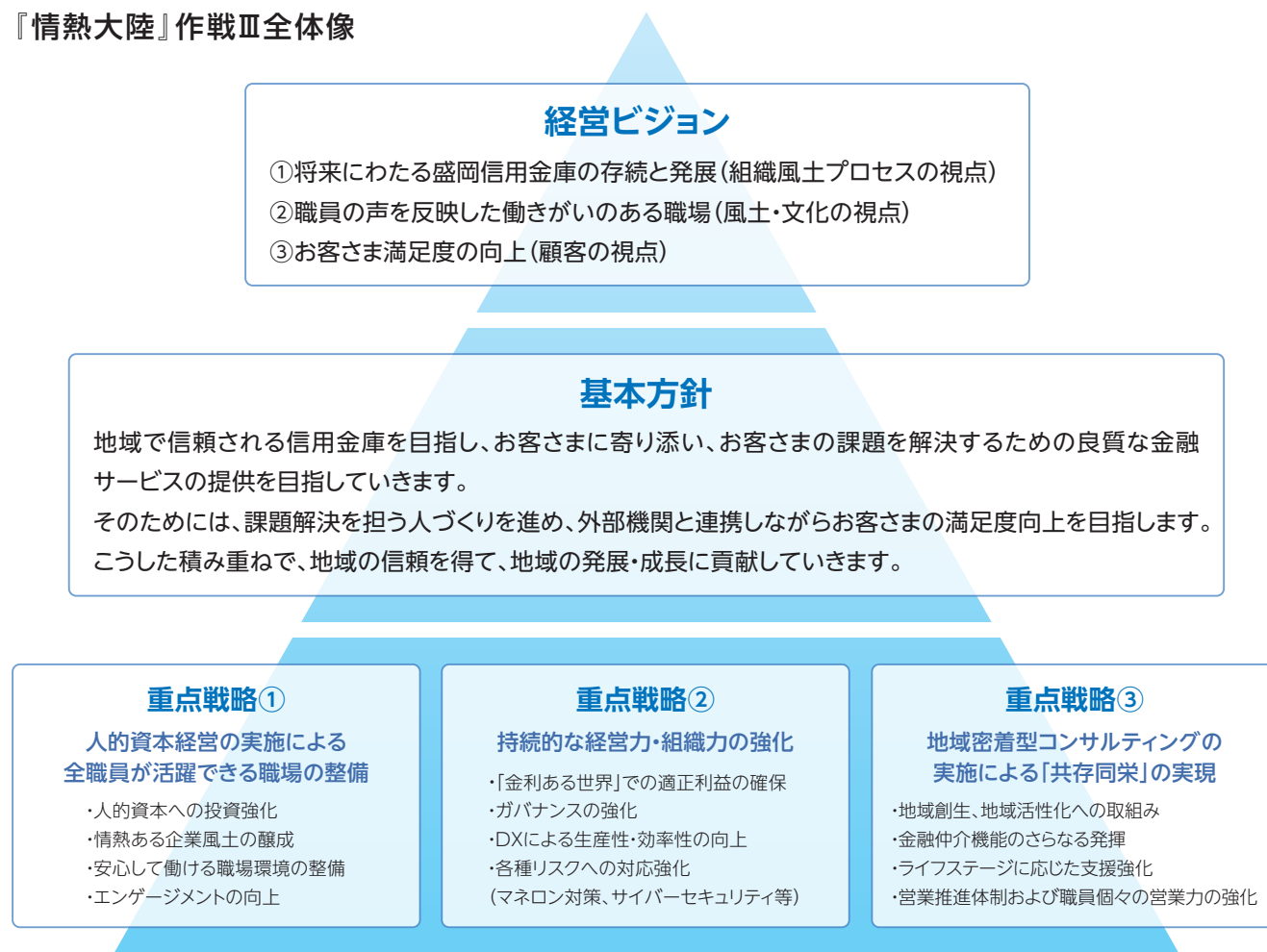
(単位：%)



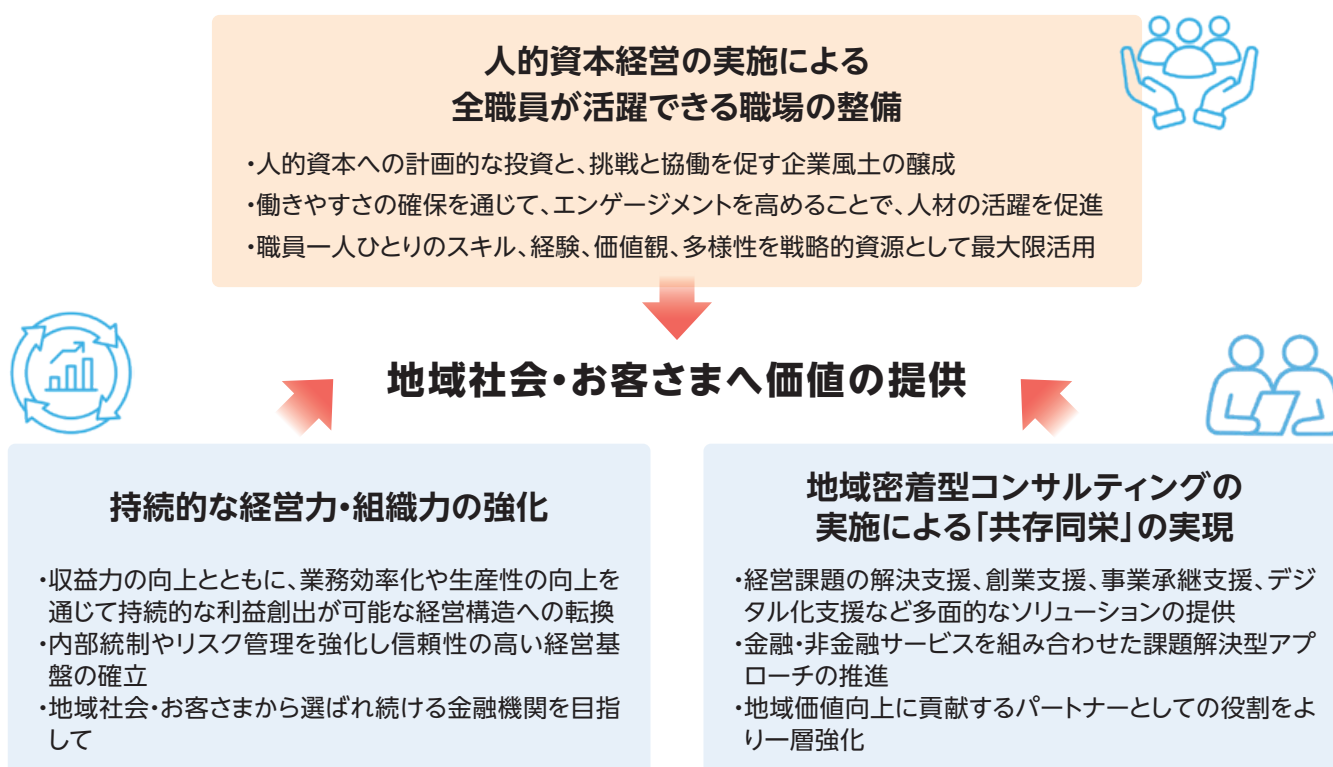
中期経営計画のビジョン

(『情熱大陸』作戦Ⅲ～人財力で未来を創る、地域と共に歩む経営～ 2026.4～2029.3)

『情熱大陸』作戦Ⅲ全体像



重点戦略のビジョン



SDGsへの取組み

当金庫は、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に、より一層貢献していくことを目的として、盛岡信用金庫「SDGs宣言」を策定しました。また、岩手県内の6信用金庫(盛岡信用金庫・宮古信用金庫・一関信用金庫・北上信用金庫・花巻信用金庫・水沢信用金庫)で、「SDGs共同宣言」を公表いたしました。

今後も、「地域経済」「地域社会」「地域環境」の3つの側面からお取引先をはじめ、地域社会が抱える課題の解決と持続可能な社会の実現に努め、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。



第28回信用金庫社会貢献賞「地域活性化運動・優秀賞」を受賞



一般社団法人全国信用金庫協会が主催する第28回信用金庫社会貢献賞において、当金庫の「療養児への本寄贈プロジェクトに参画」が「地域活性化運動・優秀賞」を受賞しました。

本件については、「もりおかSDGsファンド」第一号投資先である株式会社盛岡書房が立ち上げた「象と花プロジェクト」の取組みと、同社の理念に賛同した当金庫がプロジェクトのメインパートナーとして、直接金融と併せ「古本の回収」等事業のサポートに関わる姿勢が評価されました。

当金庫は、「象と花プロジェクト」のメインパートナーとして令和3年8月から営業店に「古本回収(寄付)ボックス」を設置し、令和8年3月までに書籍等36,735冊の寄付を受付けております。



中小企業基盤整備機構東北本部から感謝状が授与されました



当金庫は、令和7年8月21日独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部(本部長 矢内 友則 様)から、小規模企業共済の加入促進に係る感謝状が授与されました。

本件は、令和6年度に当金庫の仲介で新規加入した件数が、東北地区信用金庫内において1番の実績であったことが評価されたものです。当金庫は、令和元年度から7年連続で感謝状が授与されました。

小規模企業共済は、昭和40年に発足した個人事業主や会社役員を対象とした、経営者の退職金制度です。

当金庫は、事業を営むお客さまの将来に対する不安を解消し、ご満足いただける制度として推進しています。

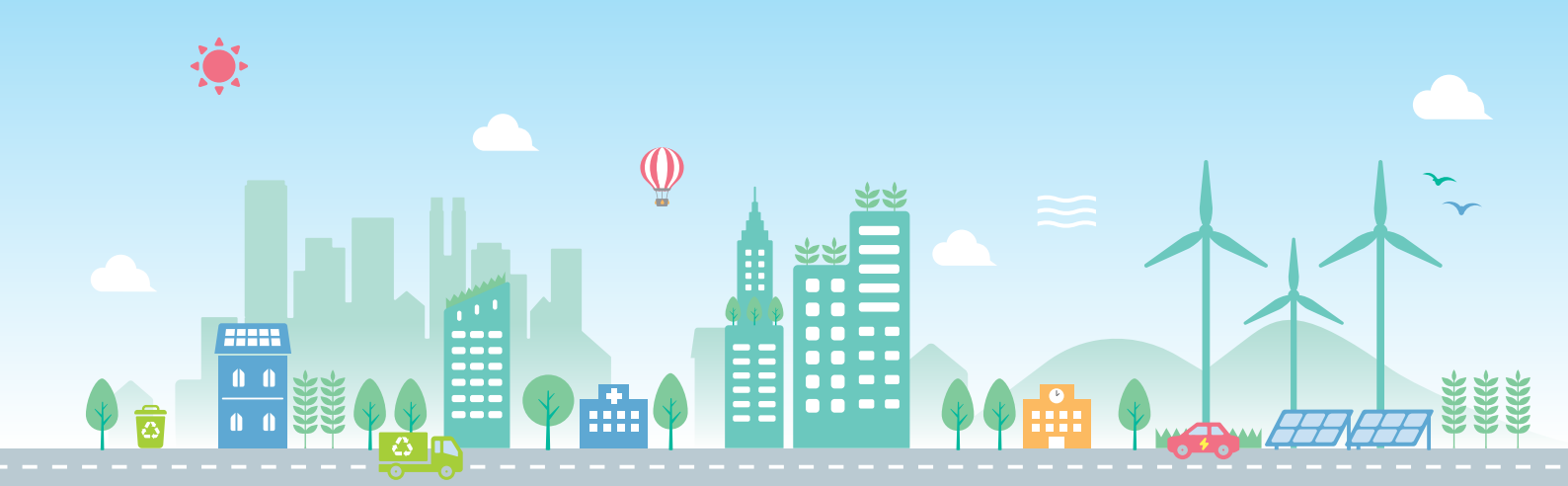


「子どもの居場所ネットワークいわて」に対し共同寄付をしました



当金庫とフコクしんらい生命保険株式会社は、令和7年8月26日「SDGsに係る共同寄付」贈呈式を執り行い、こども食堂を運営する団体で構成される「子どもの居場所ネットワークいわて」に対し206千円(当金庫103千円、フコクしんらい生命保険株式会社103千円)を寄付しました。





「Little Bee of Hachimantai ～わくわくおしごとたんけん広場～」への参加



令和7年9月20日、八幡平市松尾総合運動公園「アリーナまつお」および周辺施設を会場に、八幡平市の小中学生を対象に開催された「Little Bee of Hachimantai ～わくわくおしごとたんけん広場～」に参加しました。

当金庫では、岩手銀行平舘支店と連携してブースを設営し、金融機関のお仕事として、模擬紙幣でお札の数え方、機械を使ったお札の数え方・束ね方、1億円の重さ等を体験していただきました。



文化事業の開催



もりしんPresents「キボリノコンノ展」に特別協賛しました。

本物そっくりのお菓子や溶けて伸びるチーズ、揺らめくろうそくや透明な生卵など、「あっと驚く」作品を生み出す木彫りアーティスト・キボリノコンノさん。

硬いはずの木が柔らかそうに、美味しそうに見える不思議な作品たちを見て、撮って、触って、探して。今話題のクリエイターがおくるちょっとほっこりする展覧会に、多くの方々がご来場されました。



更生保護法人岩手保護院へ寄付をしました



金庫は創立123周年記念事業の一環として、令和8年1月19日更生保護法人岩手保護院が手掛ける施設の全面改築事業に対し1,000千円を寄付しました。

当施設は昭和48年に全面改築されましたが、ほぼ半世紀を経て老朽化が著しいことから、令和7年4月より全面改築工事に着手し、令和8年3月に完成しました。

なお、同院は明治34年に創立され大正8年に現在の下ノ橋町（鷹匠小路）に移転する際、当金庫初代組合長 高橋 伊兵衛 氏が所有する土地を譲り受け開設しました。また、高橋氏は同院の理事（会計）、相談役を務めるなど当金庫にとって縁が深い団体です。



子育て世帯をサポート

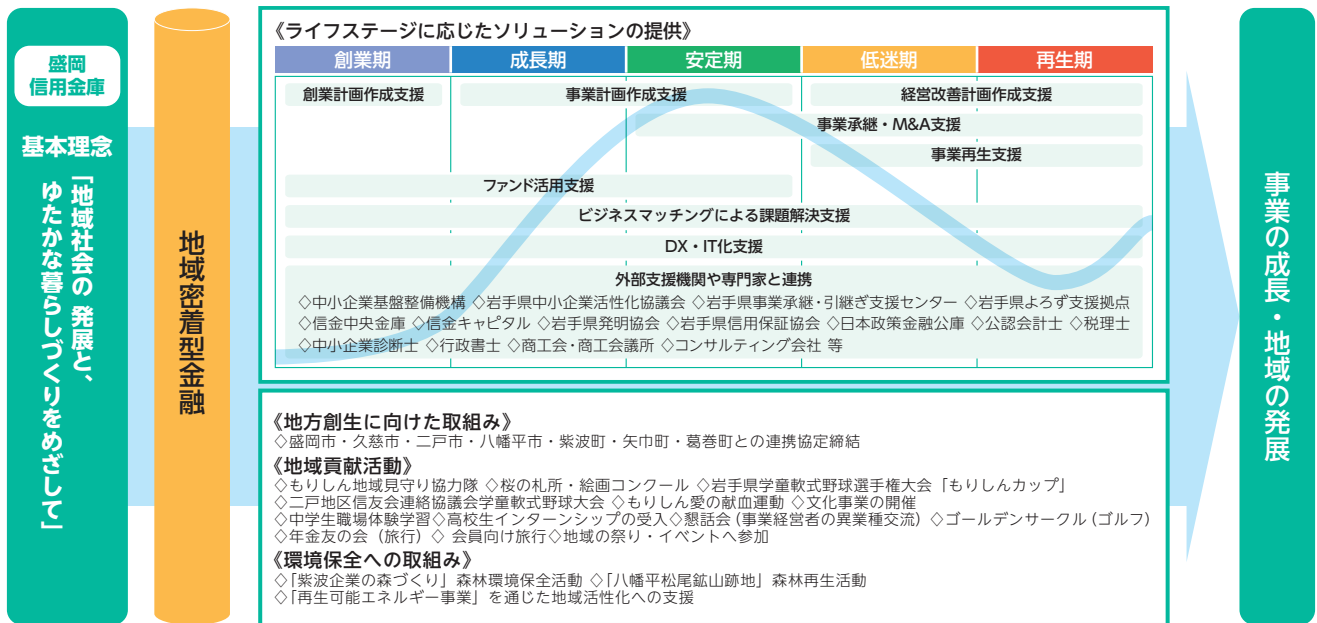


18歳未満のお子さまをお持ちの世帯、母子家庭、父子家庭の世帯を対象に、預金・融資商品の金利優遇サービスを行う「子育て支援事業」に平成20年7月から取組み、地域の子育て世帯を積極的にサポートしています。



地域密着型金融の取組み

当金庫は、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念として、地域の皆さまから「愛され」「信頼される」地域金融機関を目指して、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。



事業支援・事業再生支援

中小企業の経営支援に関する取組み方針

- 地域金融機関の使命として、中小企業の事業活動の円滑な遂行とお客さまの生活安定のために、貸付条件の変更等や円滑な資金供給に努め、金融の円滑化に取り組んでいます。
- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、各方面と連携して取り組んでいます。
- 金融仲介機能を発揮し、お客さまのニーズや課題に応じた融資やソリューション（解決策）の提供を行うほか、外部支援機関や専門家と連携し、事業の成長や地域経済の活性化に貢献してまいります。
- 経営革新等支援機関（認定支援機関）として新規事業支援や事業再生支援のほか、各種補助金等の活用促進に努めてまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 外部環境の大きな変化等に影響を受けているお客さまから、資金需要や貸付条件の変更等のお申し出があった場合には、これまでと同様に経営課題に応じた最適な解決策をお客さまの立場に立って提案し、実行支援を行う態勢を整備しています。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の後継として「とうぎん・もりしんアグリファンド2号」を設立しました。本ファンドにより、農林水産業に関わる事業者を出資や経営支援の面から支え、岩手県の基幹産業である農業を中心とした一次産業の発展・活性化につなげる支援を行う態勢を整備しています。
- 中小企業の経営改善および事業再生に向けて、本部に専門部署を設置し、独立行政法人中小企業基盤整備機構、岩手県中小企業活性化協議会、岩手県よろず支援拠点、コンサルティング会社等の外部支援機関や専門家と連携して、お客さまの抱える課題等に対応できる態勢を整備しています。
- 中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的に、株式会社日本政策金融公庫および株式会社商工組合中央金庫と「業務提携・協力に関する覚書」を締結し、当金庫と公的金融機関の機能や特性を活かしながら、お客さまの抱える課題の総合的な解決方法を提案できる態勢を整備しています。
- 事業承継、M&A仲介業務の強化策として、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター、株式会社日本政策金融公庫、コンサルティング会社等と連携して支援を行う態勢を整備しています。

中小企業の経営支援に関する取組み状況

- SDGsや地域課題解決に寄与する事業者の支援のため設立した「もりおかSDGsファンド」により、18社141百万円を投資しています。※本ファンドの投資期間は終了しました。
- 「とうぎん・もりしんアグリファンド」の投資により、岩手県内の農業法人等の発展・活性化支援に積極的に取り組んでいます。「とうぎん・もりしんアグリファンド」設立からの投資金額は5社154百万円です。
- 営業店と本部が連携して経営改善に努めたほか、外部支援機関と連携して経営改善計画書の策定支援や事業再生のアドバイスを行うなど、より実効性の高い支援に取り組まれました。
- 事業の悩み、課題解決の一助として、岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、令和7年度は26事業先の相談を受けました。
- 経営者保証に関するガイドライン研究会が公表した「経営者保証に関するガイドライン」および事業承継時に焦点を当てた同ガイドラインの特則の趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者の保証を免除する、または経営に関与しない第三者の方の保証は求めない等の対応に努めています。今後もガイドライン等の趣旨を踏まえ、適切に対応するとともに、担保・保証に過度に依存することなく、企業価値や将来性を重視した融資に積極的に取り組んでいます。なお、令和7年度において、新規に無保証で融資した件数は442件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は45.37%、保証契約を解除した件数は29件、当金庫をメイン金融機関とした保証債務整理の件数は0件でした。

経営者保証に関する取組み方針

- 当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着していくために、以下のとおり取り組みます。
- お客さまから融資等資金調達のお申込みを受けた場合、当金庫ではお客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法（一定の金利の上乗せ等）を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
 - 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
 - お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。
 - 割引手形や保証付きの個人事業主への融資における経営者保証を原則不要といたします。

経営支援力の向上

- お客さまの資金繰り改善支援や事業再生支援、目利き力向上等のコンサルティング機能の発揮に向けて継続的に研修会を行っています。
- 令和7年度は、独立行政法人中小企業基盤整備機構から講師を招いて「財務分析研修」・「事業承継実践インターバル研修」を実施し、お客さまの経営支援に関するサポート力の向上を図りました。
- 東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターが主宰する「地域イノベーションアドバイザー塾（RIAS）」へ当金庫職員を塾生として派遣し、企業経営と事業革新に関する知識や支援に必要な実践的なスキルを習得、「地域イノベーションアドバイザー」の資格を取得し、お客さまの革新的事業の創出に向けた支援を行っています。

○ファンドの紹介

【もりおかSDGsファンド】

「もりおかSDGsファンド」は、地域における社会課題の解決・SDGs（持続可能な開発目標）、起業家・経営革新企業の創出、コロナ禍からの復活を投資テーマとし、盛岡広域圏の自治体との連携のもと、SDGsに基づく17のゴールの達成および社会課題解決に取り組む企業へのリスクマネーの供給と経営に対するハンズオン支援を通じ、事業の成長、雇用拡大、地元経済・産業の発展に貢献するものです。

当ファンドは、当金庫、盛岡市、滝沢市、矢巾町、FVC Tohoku株式会社との共同出資により設立され、のちに紫波町が加入しました。ファンド総額は199百万円、設立から令和8年3月末までの投資実績は18社141百万円です。

注）当ファンドは投資期間を終了しています。

【とうぎん・もりしんアグリファンド】

「とうぎん・もりしんアグリファンド」は、ファンドによる「資本に対するリスクマネーの供給」を通じ、岩手の基幹産業である農業を支援しています。

当ファンドは、当金庫、株式会社東北銀行、株式会社日本政策金融公庫、株式会社AGSコンサルティングとの共同出資により設立されました。ファンド総額は200百万円、設立から令和8年3月末までの総投資実績は5社154百万円です。

農業法人投資育成事業にかかるファンドの信用金庫と地方銀行による共同設立は、全国初の取組みです。

注）当ファンドは投資期間を終了しています。

【とうぎん・もりしんアグリファンド2号】

当金庫は、株式会社東北銀行、株式会社AGSコンサルティング、株式会社日本政策金融公庫と、令和7年5月「とうぎん・もりしんアグリ2号投資事業有限責任組合（通称：とうぎん・もりしんアグリファンド2号）」を設立しました。

本ファンドに先立ち、平成31年2月に設立された1号ファンドは、計5先に対する投資を実行し投資期間を終了しました。

本ファンドのコンセプトは、「投資先の成長を通じた東北エリアにおける一次産業の課題解決を図り、持続可能な産業発展に貢献すること」であり、投資対象である成長企業の中でも、課題解決に貢献する「スマート農業関連事業者」「脱炭素農業関連事業者」への出資を推進します。また、ファンドの方途として「農業法人の事業承継」での活用を目指します。なお、本ファンドの投資対象者は、農業・林業・漁業を営む法人や食品産業等、一次産業に関連する事業者です。

当金庫は本ファンドを通じ、一次産業ならびに関連事業を営む事業者に対して、自己資本充実と対外的な信用力の強化をサポートし持続的発展と成長を支援することで地域経済の発展に努めてまいります。

○創業支援先の紹介

Tetocopan（テトコパン）

代表 阿部 直也 様

盛岡市で岩手県産小麦を使ったクロワッサンや、季節ごとの総菜パンなどを販売し、開店前から行列ができるパン屋さんをご紹介します。

「カスタマーズボイス」

私は、長年盛岡市内のパン屋で経験を積み、素材や製法にこだわった、自分が本当においしいと思えるパンを作りたいという強い思いから、自分の手の届く範囲で、地元盛岡の皆さまに必要とされるパン屋を目指して創業しました。

創業準備を進めるうえで、店舗運営に伴う資金計画や設備投資、開業後の売上見通しやコスト管理、雇用手続きなど、様々な不安を抱えていました。「起業家塾@もりおか」での事業計画作成の学びや、店舗物件の選定、設備の見積もりなどの準備のほか、商品の試作と改良を積み重ね、準備を進めていきました。

盛岡信用金庫さんには、創業計画の段階から丁寧に相談に乗っていただき、資金計画の見直しや必要書類の整理などのサポートが非常に助かりました。

令和7年12月に開店し、自分の理想とするパン作りを形にし、お客さまから「おいしい」と言っていただけることや、思いがけないつながりが生まれるなど、創業して良かったと感じています。一方で、仕込み・製造・経理・労務など店舗の運営はほとんど自分で管理しなければならず、大変さも感じています。

盛岡信用金庫さんには、今後の経営相談や、税務・労務に関する専門家のご紹介なども、ネットワークを通じて引き続き支援してもらいたいと考えています。

Tetocopan | 盛岡市本宮3丁目24-3ジョイハウスフジムラ1F
TEL: 019-613-5927
営業時間: AM10:00~PM5:00 (売り切れ次第終了)



○岩手県よろず支援拠点との連携

全国初の取組みとして、事業の悩み・課題解決の一助を目的に、平成26年12月から岩手県よろず支援拠点との合同相談会を開催し、これまでに延べ633事業先（令和8年3月末時点）の相談を受けました。

岩手県よろず支援拠点では、単なる問題点の指摘や現状分析にとどまらず、強みを見つけ、具体的な戦略を立て、成果に導く支援をしています。令和4年度からは、オンライン相談に対応し、最寄りの営業店で相談できる態勢を整えています。



○ビジネスマッチング・販路拡大支援等

「ビジネスマッチ東北」をはじめ、全国の信用金庫ネットワークを利用して、首都圏の信用金庫等が主催するビジネスフェア、物産展へ多くのお取引先企業を推薦し、県内外に向けた販路拡大の支援を通じてお取引先企業の発展に貢献しています。



東北地区

- 令和7年6月11日
「いわて食の大商談会2025」
当金庫推薦6企業出展
(岩手県、盛岡信用金庫他主催)



- 令和7年9月13日～15日
「とうぎん・もりしん・きたしん・LiViTマルシェ」
当金庫推薦2企業出展
[盛岡信用金庫、株式会社東北銀行、北上信用金庫、JR東日本東北総合サービス株式会社 盛岡営業支店（呼称：LiViT）共催]



- 令和7年11月13日
第20回「ビジネスマッチ東北2025」
当金庫推薦20企業・団体出展
(東北地区信用金庫協会他主催)



首都圏

- 令和7年5月19日～23日
「第19回 東京発！物産・逸品見本市」
当金庫推薦5企業出展
(西武信用金庫他主催)



- 令和7年6月11日
「さいしんビジネスフェア2025」
当金庫推薦1企業出展
(埼玉縣信用金庫主催)
- 令和7年10月17日
「第14回 さわやか信用金庫物産展」
当金庫推薦3企業出展
(さわやか信用金庫主催)



- 令和7年11月21日
「第25回 ひがしんビジネスフェア2025」
当金庫推薦1企業出展
(東京東信用金庫主催)



- 令和7年11月26日
「第25回ビジネスフェア」
当金庫推薦2企業出展
(西武信用金庫主催)



- 令和7年11月26日～27日
「2025“よい仕事おこし”フェア
全国の信用金庫によるモノづくり
JAPAN美味逸品 大商談会」
当金庫推薦1企業出展
[よい仕事おこしフェア実行委員会
主催（事務局 城南信用金庫）]



当金庫主催

- 令和8年3月4日
「もりしんバイヤー個別商談会」
18企業参加



○株式会社岩手日報社との生成AIに関する連携協定の締結

当金庫は、株式会社岩手日報社と「生成AIに関する連携協定」を締結しました。

本協定は岩手県内において生成AIの普及・活用を促進し、各々が有するノウハウやネットワーク等を生かしながら人口減少や物価高等に直面する地域の様々な課題の解決につなげ、地域活性化を図ることを目的としております。

【連携事項】

- (1) 生成AI等の活用による地域の活性化に関する事項
- (2) 生成AI等の活用による企業、地方自治体等の業務効率化及び生産性向上に関する事項
- (3) 生成AI等の活用による新規事業創出に関する事項
- (4) 様々な地域課題及び生成AI等を巡る社会情勢等の分析、情報交換に関する事項
- (5) その他前条の目的を達成するために両者が必要と認める事項



○地方創生の連携に関する協定

当金庫は、地域活性化に資することを目的として、7市町、4企業・団体と地方創生に係る連携協定を締結しています。



盛岡市	平成28年 3月24日「地方創生の連携に関する協定」締結 平成31年 2月 6日「産業振興の連携に関する協定」締結
久慈市	平成27年 2月23日「地域経済活性化に向けた包括連携に関する協定」締結
二戸市	平成28年12月 9日「地方創生の連携に関する協定」締結
矢巾町	平成28年 5月11日「地方創生の推進に関する包括的連携協定」締結
葛巻町	令和 5年 1月23日「地域活性化に向けた包括連携協定」締結
紫波町	令和 2年 1月28日「地方創生に向けた地域人材の育成に関する協定」締結 令和 5年 5月15日「紫波町脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定」締結
八幡平市	令和 6年 7月 1日「八幡平市地域新電力事業に関する連携協定」締結

○もりしん「地域見守り協力隊」

もりしん「地域見守り協力隊」の活動は、日常生活及び通常業務の中で、子ども・女性・高齢者を含む、地域で生活するすべての住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自治体、警察署並びに消防署等関係機関との連携協力を図り、不測の事態を未然に防ぎ、地域の安心・安全を見守り及び支援する「良き企業市民」としての役割を果たすことを目的としています。

これまでに、盛岡市をはじめ8市町と協定を締結し活動しています。



盛岡市	令和2年 7月 8日「地域において支援を必要とする者の把握に関する協定」締結
滝沢市	令和2年11月 2日「地域見守り協力に関する協定」締結
矢巾町	令和2年11月 4日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
二戸市	令和2年12月 2日「地域において支援を必要とする方の把握に関する協定」締結
八幡平市	令和2年12月23日「八幡平市高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定」締結
遠野市	令和3年 1月26日「地域見守り活動に関する協力協定」締結
紫波町	令和3年 2月17日「紫波町における地域の安全・安心と活性化に関する連携協定」締結
久慈市	令和3年 3月 9日「久慈市地域見守り協力事業に関する協定」締結

○第39回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」

平成26年度から岩手県野球協会が主催する「岩手県学童軟式野球選手権大会」へ特別協賛しています。

第39回岩手県学童軟式野球選手権大会「もりしんカップ」は、令和7年8月2日～5日の日程で、雫石町営野球場と雫石町営鶯宿グラウンドA・B・Cを会場に開催されました。

本大会は、岩手県下より各地区の予選を勝ち抜いたスポーツ少年団32チームが出場し、闘志あふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】土淵ボンバーズ（盛岡市代表）

○第39回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会

平成20年度から二戸地区信友会連絡協議会が主催する「二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会」へ後援・協賛しています。

第39回二戸地区信友会連絡協議会学童軟式野球大会は、令和7年10月4日・5日二戸市労働環境施設運動公園「大平球場」を会場に開催されました。

本大会は、二戸地区から選抜されたスポーツ少年団7チームが出場し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられました。



【優勝】二戸ベースボールクラブスポーツ少年団（二戸信友会）



○地域の祭り・イベントへの参加

一年を通して積極的に地域の行事に参加しています。

盛岡市「盛岡さんさ踊り」、遠野市「さくら祭り」、二戸市「二戸まつり」など、地域の祭り・イベントに役職員が参加しています。



○観光招致活動

平成23年の東日本大震災を機に、全国の信用金庫のネットワークを活用し、岩手県内への観光招致活動を行っています。

令和7年度は、3信用金庫738名の皆さまがご来県され、平成23年度から延べ34信用金庫8,528名の皆さまがご来県されました。

当金庫では、ご来県された皆さまへ御礼と感謝の気持ちを込め、もりしん「さんさ踊り同好会」による「盛岡さんさ踊り」の披露や、訪問地の地方公共団体等と連携し歓迎セレモニーを開催しています。



○第9回「もりしん愛の献血運動2025」～6月15日は信用金庫の日～

昭和26年（1951年）6月15日に「信用金庫法」が公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、全国の信用金庫が毎年地域に密着した取組みを実施しています。

当金庫では、令和7年6月～12月の期間中、第9回「もりしん愛の献血運動2025」を実施し、役職員とその家族が献血をしました。

○中学生職場体験学習

職場体験・就労体験を通じ、その職業の魅力、社会人に求められることや働くことの大切さ、職業選択の考え方などを学ぶ総合学習の一環として、平成27年度より中学校延べ20校136名の生徒を対象に実施しました。

令和7年度は、中学校1校6名の生徒を対象に、金融機関の基本業務を説明する他、営業店業務の見学等を実施しました。

また、社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会と連携し「高齢者疑似体験学習」を実施しました。

実際に高齢者疑似体験装具を身に着けることで、加齢による体の不自由さを体験し、高齢者へ配慮した適切な対応を学習した他、車いすの基本操作や介助方法等も学習しました。



○高校生インターンシップの受入れ

高校生の職業選択能力の育成や、地元企業の魅力を伝えることにより人材の将来的な地元定着を図ることを目的とする、盛岡市の「盛岡広域圏高校生インターンシップ事業実施協議会」の登録企業として、令和7年度から生徒の受入れを始めました。

令和7年度は、岩手県立盛岡商業高等学校、盛岡市立高等学校から2年生9名の生徒が、当金庫のインターンシップに参加しました。

生徒は、預金・融資・為替といった金融機関の基本業務や、信用金庫が地域のお金を循環させる役割を担っていることなどを学び、また、模擬紙幣を使用してお札の数を数える方法を体験したほか、営業店業務の様子を見学しました。

また、生徒から令和7年3月に卒業した先輩職員へ、高校生時代の就職活動に対する取り組みや、社会人になってからの感想等、活発な質問が行われました。



○サークル活動

「もりしん懇話会」

事業経営者の異業種交流・親睦を深めることを目的として、各営業店単位で組織しています。

講演会、親睦会などを開催しており、気軽に情報交換ができる場として好評を得ています。

令和7年度は、岩手県よろず支援拠点からコーディネーターをお招きし、公的制度、事業承継・補助金、人材採用・育成の勘所等々、多岐にわたる内容について講演会を開催しました。

「ゴールドンサークル」

お取引いただいているお客さまの中で、ゴルフを楽しまれる方々のサークルです。

ゴルフを通じて親睦を深めるとともに、会員同士の交流によりビジネスマッチ等の接点を得る機会と捉え、取引の拡充を目的としてゴルフコンペを企画し開催しています。



○第13回盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」

平成25年の春から、子供たちに自然を大切にする心・郷土を愛する心を育み、子供たちが心豊かでたくましく成長することを願い、盛岡信用金庫「桜の札所・絵画コンクール」を開催しています。

第13回目となる令和7年春のコンクールには、30校・2団体の児童より1,496点の作品をご応募いただき、内34点を受賞作品として選定しました。



【盛岡信用金庫理事長賞】
桜を描いた場所：
小岩井農場一本桜
盛岡市立仙北小学校5年生
田澤 彩羽さん



○盛岡信用金庫会員向け旅行の実施

盛岡信用金庫会員向け旅行「2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博へ行く！大阪・淡路・鳴門3日間」を実施しました。

本旅行は、株式会社JTが旅行を企画実施し、令和7年6月お客さま67名が参加されました。

「梅田スカイビル」見学や「なんばグランド花月」での鑑賞をはじめ、20年ぶりに日本で開催となった国際博覧会「大阪・関西万博」の見学、鳴門海峡での「うずしおクルーズ」の見学等、参加された皆さまには各地をご堪能いただきました。

また、旅行三日目に訪れた北淡路震災記念館では、淡路信用金庫の皆さまに出迎えていただきました。



「もりしん年金友の会」

当金庫で年金をお受け取りいただいているお客さまや、年金振込のご予約をいただいているお客さまのサークルです。定期預金の金利優遇や、年金受給中の方にはお誕生日プレゼントの特典があります。



※令和7年度年金プレゼント
「おぼろガーゼタオル」

また、コロナ禍の状況を鑑みて見送りしていた会員向け旅行を6年振りに実施しました。

令和7年度は、株式会社みちのりトラベル東北が企画実施した【第38回もりしん年金友の会「一温泉と癒しの常夏の時間ーハワイアンズ・モノリスタワーでゆったり寛ぎ旅」】に、令和7年11月お客さま116名が参加されました。



初日は、スパリゾートハワイアンズで丸一日ゆっくり寛いでいただいた他、二日目に訪問した福島県浪江町では、あぶく信用金庫の役職員の皆さまと浪江町の町長、副町長から歓迎を受けました。



○「紫波企業の森づくり」 森林環境保全活動

森林を整備し、水源涵養など森林の公益的機能の向上を目的として、平成23年11月、紫波町と「紫波企業の森づくりに関する協定」を締結しました。

本活動は、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環として、平成24年から令和8年までの15年間にわたり実施します。

森林整備を通じ、二酸化炭素吸収、水源涵養、土砂流出防止等のほか、間伐によって搬出された木材は、木質チップとして再資源化することにより地域内のエネルギーとして活用されます。

第14回目となる令和7年度の活動は、令和7年6月14日に令和7年度新入職員を含む計33名の役職員が参加し、間伐により散在している木材を、森の中から作業用道路へ運搬する作業を行いました。

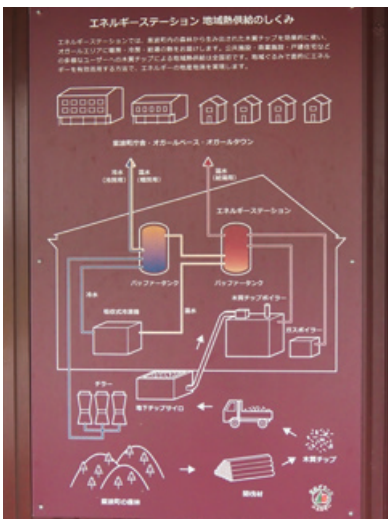


○「八幡平松尾鉦山跡地」 森林再生活動

平成20年度より、荒廃裸地化した鉦山跡地を森林に戻そうと八幡平松尾鉦山跡地に「もりしん友情の森」と名付け、森林再生活動に取り組んでいます。

これまでに植樹した苗木は1,000本を超え、最初に植樹した苗木は9m超の樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

第14回目となる令和7年度の活動は、令和7年6月14日に役職員とその家族他15名により、保育活動（除伐、枝打ち、下草刈り等）を主に実施しました。



○「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進・支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

自治体等への提案を行い、地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として地域外へ流出していた資金を地域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進しています。これにより、新たなビジネス・雇用を創造すると共に地域の活性化を目指しています。

なお、紫波中央駅前の再開発(オガールプロジェクト)において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅へ木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。また、森林整備を行い、生じた間伐材は地域の公共温泉施設等でチップボイラーの燃料として使用されます。



○お客さまのために

お客さまにご満足いただける商品・サービスを提供するために、ホームページ上に「お問い合わせフォーム」を設置し、お客さまのご意見ご要望をお寄せいただいています。

○サービス向上・改善に向けた具体的取組み

お客さまからのご意見やご要望をもとに、これまで取組んでまいりました主な施策を紹介させていただきます。



●「拡聴器」を各営業店窓口に設置



●ATMは全台「視覚障がい者対応ATM」を導入



●「杖ホルダー」を各営業店窓口に設置



●ATMを利用した特殊詐欺被害の防止を目的とした「注意喚起マット」を設置



●「コミュニケーションボード」「筆談ボード」を各営業店窓口に設置



●本店駐車場に「障がい者用駐車スペース」を設置



●「消毒ステーション（センサー式消毒液噴射器）」の設置



●認知症サポーター養成講座・高齢者疑似体験講座を役職員が受講しています。



●本店ロビーにAED（自動体外式除細動器）の設置

しんきんの共済制度 日本フルハップの会員募集について

●日本フルハップとは

- 日本フルハップは、中小企業の健全な発展と福祉の増進に寄与することを目的に昭和63年に設立された公益財団法人で、令和5年に「中小事業主が行う事業に従事する者等の労働災害等に係る共済事業に関する法律」に基づく共済団体として認可を受けています。
- 中小企業の事業主やそこで働く従業員の方々の安全と健康を確保し、福利厚生の実現を図るため、ケガの防止、福利厚生、ケガの補償の3つの事業を行っています。

会員になれる方（会員資格）

中小企業（常時使用する従業員の数が300人以下、または資本金の額もしくは出資の総額が3億円以下）の法人または個人事業主が会員になります。

詳しくは、各店およびローンプラザまでお問い合わせください。

しんきんの共済制度

月額1,500円で **3つの安心**
街の社長さんを応援します！



日本フルハップ

Instagram公式アカウントについて

当金庫は、Instagram公式アカウントを公開しております。

当金庫のことについて、お客さまをはじめとする地域の皆さまに、より身近に感じていただけるような情報を発信しています。

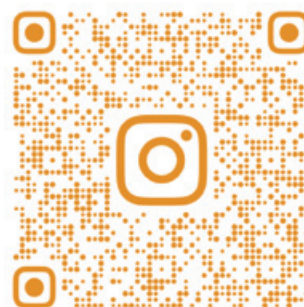
当金庫の取組みや商品情報だけでなく、地域の情報も積極的にお届けし、地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

皆さまからのフォローを、ぜひお待ちしております。

▶ URL : <https://www.instagram.com/morishin1150/>

▶ Instagramの公式アカウント : @MORISHIN1150

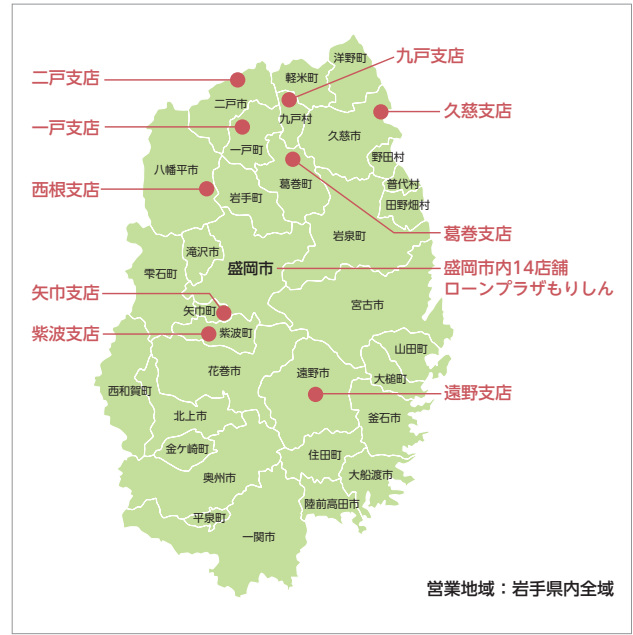
アカウント二次元コード



@MORISHIN1150

●店舗インフォメーション・キャッシュサービスコーナー (ATM) (令和8年7月1日現在)

店舗所在地			店内キャッシュサービスコーナー
店舗名	所在地	電話	平日ご利用時間 土・日ご利用時間 祝日ご利用時間
本店	盛岡市中ノ橋通一丁目4番6号	(019) 623-2221	8:00~21:00
仙北町支店	盛岡市仙北一丁目14番11号	(019) 636-0022	
材木町支店	盛岡市材木町6番6号	(019) 623-6277	
大通支店	盛岡市大通一丁目6番15号	(019) 623-6227	
本町支店	盛岡市本町通一丁目9番26号	(019) 623-6257	
青山町支店	盛岡市青山三丁目30番1号	(019) 647-1181	
厨川支店	盛岡市厨川一丁目10番5号	(019) 641-1185	
都南支店	盛岡市津志田中央二丁目1番5号	(019) 638-3535	
高松支店	盛岡市高松四丁目1番10号	(019) 661-8136	
山岸支店	盛岡市本町通一丁目9番26号(本町支店内)	(019) 652-5911	
松園支店	盛岡市松園一丁目20番25号	(019) 662-0101	
天昌寺支店	盛岡市北天昌寺町5番5号	(019) 646-7441	
東支店	盛岡市中野一丁目21番6号	(019) 624-6465	
みたけ支店	盛岡市みたけ四丁目4番16号	(019) 641-1330	
紫波支店	紫波郡紫波町日詰字都山駅236番地1	(019) 676-2141	
矢巾支店	紫波郡矢巾町大字又兵衛新田第7地割194番地1	(019) 697-8800	
西根支店	八幡平市大更第23地割98番地3	(0195) 76-2611	
久慈支店	久慈市中央二丁目1番地	(0194) 53-3281	
遠野支店	遠野市中央通り1番17号	(0198) 62-3247	
二戸支店	二戸市福岡字中町15番地	(0195) 23-2141	
一戸支店	二戸郡一戸町一戸字向町18番地の1	(0195) 33-3141	
葛巻支店	岩手郡葛巻町葛巻第16地割1番地1	(0195) 66-3311	
九戸支店	九戸郡九戸村大字伊保内第10地割10番地1	(0195) 42-2141	



営業地域：岩手県内全域

ローンプラザもりしん (六日町本部)	盛岡市下ノ橋通2番14号	☎0120-160-656	窓口営業時間	平日 (土日、祝日、12月31日~1月3日を除く) 9:00~17:00
-----------------------	--------------	---------------	--------	---

●店舗外キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
六日町			
滝沢市役所			
イオンモール盛岡南			
ビッグハウス巣子店		8:00~21:00	
アクロスプラザ盛岡みたけ			
二戸中央			
二戸市役所浄法寺総合支所			
紫波町役場		8:00~20:00	
流通センター (ラポール盛岡内)	8:00~19:00	土曜8:00~17:00	休業
マリオス	9:00~18:00		休業
DCM西根店		9:00~20:00	
ベルフ山岸			
ベルフまつぞの			
ユニバースサタウン松園店			
ショッピングコートみたけ		9:00~21:00	
盛岡南ショッピングセンターサンサ			
DCM盛南店			
パルクアベニュー・カワトク		10:00~19:00	
ニコア		10:00~20:00	

●共同利用キャッシュサービスコーナー

	平日ご利用時間	土・日ご利用時間	祝日ご利用時間
盛岡地区合同庁舎	8:00~18:00		休業
盛岡駅		8:00~21:00	
岩手医科大学トクタヴェール			
ユニバース久慈SC店		9:00~21:00	
一戸町役場	8:00~19:00	土曜8:00~19:00	休業
盛岡市役所	9:00~17:30		休業
盛岡南ショッピングセンター		9:00~20:00	
一戸ショッピングセンター			
ビッグハウス川久保店			
イオンモール盛岡		9:00~21:00	
ジョイス東家庭店			

- ご入金について
当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫・ゆうちょ銀行・信用組合・労働金庫・一部の第二地方銀行のキャッシュカードによるご入金ができます。
(現金の「出金」と同じ手数料がかかります。提携を行っていない金融機関がございますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。)
- お振込について
当金庫のキャッシュカードは、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュサービスコーナーで「お振込」ができます。
また、当金庫キャッシュサービスコーナーにおいて、信用金庫、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信用組合、労働金庫のキャッシュカードによる「お振込」ができます。〔振込手数料〕と〔ATM利用手数料〕がかかります。
- 手数料について
平日8時から8時45分、18時以降と土曜日8時から9時、14時以降および、日曜日、祝日のご利用は延長手数料110円がかかります。
全国の信用金庫間の手数料は、平日8時45分から18時まで、土曜日9時から14時までは無料となります。(土曜日は、一部の信用金庫で終日有料となります。他行設置の共同利用のキャッシュサービスコーナーも有料となります。)
全国のゆうちょ銀行、銀行などのキャッシュサービスコーナーでもご利用いただけますが、手数料の金額が異なる場合がありますので、事前にお取扱金融機関にご確認ください。



令和8年度入庫式



野球部 (第71回岩手県下信用金庫野球大会優勝)



ディスクロージャー誌（資料編） に係るご案内

信用金庫法施行規則第132条および第133条並びに金融庁告示による開示項目等については、“ディスクロージャー2026・盛岡信用金庫の現況（資料編）”をご覧ください。

ディスクロージャー誌（資料編）は、当金庫のホームページからご覧いただけます。なお、インターネットに接続できる機器（パソコン、スマートフォン等）をお持ちでないお客さまは、当金庫職員までご相談ください。

●当金庫のウェブサイト

（ディスクロージャー誌の掲載ページ）

<https://www.shinkin.co.jp/morishin/about/?id=disclo>

※なお、スマートフォン等からは、
こちらでもアクセスすることができます。



盛岡信用金庫

ディスクロージャー2026・盛岡信用金庫の現況

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-6

TEL 019-623-2221

URL <https://www.shinkin.co.jp/morishin/>



本ディスクロージャー誌は、水資源や森林資源の利用を抑えた石灰石からなる新素材「LIMEX（ライメックス）」を使用しています。当金庫は、今後も限りある資源を大切に、環境に配慮したSDGsの取組みを継続してまいります。

廃棄に際しては古紙回収に出さず、可燃ごみとして取扱ってください